



2023年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ホットリンク 上場取引所 東
 コード番号 3680 URL <https://www.hottolink.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 内山 幸樹
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 CFO（氏名） 福島 淳二（TEL） 03-6261-6930
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	3,408	△38.6	176	△10.9	310	352.0	245	196.6	245	246.8	453	△18.7
2022年12月期第3四半期	5,548	28.5	198	16.6	68	△90.6	82	△84.8	70	△87.0	556	△16.6
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2023年12月期第3四半期	15.72		15.70									
2022年12月期第3四半期	4.55		4.53									

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	8,841		6,422		6,422		72.6	
2022年12月期	8,471		5,947		5,947		70.2	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,846	△38.7	99	△95.3	85	△95.4	69	△96.3	69	△96.2	4.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期3Q	15,965,800株	2022年12月期	15,854,800株
2023年12月期3Q	280,215株	2022年12月期	280,215株
2023年12月期3Q	15,648,856株	2022年12月期3Q	15,574,585株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結財政状態計算書	5
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結包括利益計算書	7
(4) 四半期連結持分変動計算書	8
(5) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、ロシア・ウクライナ情勢に加え、中東の動向といった地政学リスクには注視が必要であるほか、欧米金利の上昇を背景とした世界経済の先行きに不透明さが増しているなか、外部環境の影響を受けにくいビジネスモデルの確立に注力してまいりました。

ソーシャルメディアマーケティング支援事業は、底堅い企業ニーズを背景に拡大する事業と位置付け、当社の強みであるSNS上のビッグデータの収集・分析・活用のワンストップ提供で顧客企業の支援に注力しております。

一方で、インターネットはWeb2.0からWeb3へパラダイムシフトする変化のタイミングであると考えております。そのような環境において、当社は既存のソーシャルメディアマーケティング支援事業の拡大に取り組むと同時に、新規事業として、先んじて2018年からWeb3の基盤となるブロックチェーン技術の調査・研究に取り組んでまいりました。このインターネットのパラダイムシフトを次のチャンスとするための取り組みとして、Web3関連への投資事業を立ち上げ、パイロット・ファンドの運用に加え、Web3業界におけるグローバルネットワークの構築を通じたファンドサイズの拡大や自社事業とのシナジーの創出、新規事業の立ち上げを行うことも検討しております。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

(ソーシャルメディアマーケティング支援事業)

「ソーシャルメディアマーケティング支援事業」は、SNSマーケティング支援事業とDaaS事業の2つの事業区分により構成されております。

a. SNSマーケティング支援事業

当事業は、主に日本国内向けのSNSマーケティング支援から成り立っており、その主なサービスは、SNS広告・SNS運用コンサルティングと、SNSの分析ツールである「クチコミ@係長」などであります。これらのサービスは、当社が保有する膨大なデータと、長年に亘り蓄積してきたSNS分析・運用ノウハウで、分析から施策立案、効果測定までを一気通貫でサポートするものです。

当事業の売上高は1,527百万円（前年同期比5.7%増）となりました。拡大する事業と位置づけているビジネスであるSNS広告・SNS運用コンサルティングにおいて、引き続き、順調に実績を積み上げている当社サービスへの顧客からの評価が高まっていることに加えて、2023年2月28日付で株式会社wevna1より事業譲受したSNS広告（獲得系）の売上により、前年同期と比較し増加となりました。一方で、円安や原材料高の影響による顧客企業の販管費抑制やSNS運営企業の経営方針の変更、情報の提供方法の変更といった不透明な事業環境も継続しており、顧客の支援サービスや顧客ポートフォリオの拡充に取り組んでおります。なお、SNS分析ツールについては、営業人員をSNS広告・SNS運用コンサルティングに集中しているため、前年同期と比較し減少となりました。

b. DaaS事業

当事業は、主にSNSデータアクセス権の販売から成り立っております。

当事業の売上高は1,881百万円（前年同期比19.4%増）となりました。これは、継続して取り組んでいるSNSデータアクセス権の価格改定による既存顧客の単価上昇や解約防止、新規顧客の開拓によるものです。当社の米国子会社であるEffyis, Inc. は引き続き、世界中のソーシャル・ビッグデータを保有するメディアとの間で良好な関係維持に取り組み、安定したデータ提供や新規メディアからのデータアクセス権の契約を獲得してまいります。

(Web3関連事業)

「Web3関連事業」は、Web3に関連する事業を行うものです。現在は2022年5月24日に設立したNonagon CapitalによるWeb3分野への投資運用業がその主なものです。Nonagon Capitalは、Web3分野での新事業創出のための知見を深めること及び投資収益・投資事業収益の獲得を主な目的とし、米国を中心に世界各国のWeb3に関連するスタートアップを対象に投資活動を行っております。当第3四半期連結累計期間では、投資先の調査、選定及び出資が主な活動であり、当事業の売上高は発生しておりません。

なお、Web3関連市場のボラティリティが高まる中で、短期的な利益を追求するのではなく、長期的な視点を持って投資を行うこととしており、投資回収期間についても5年程度を見込んでおります。また、当連結会計年度に対する業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

セグメント別売上高

セグメント名	サービスの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	
		売上高(千円)	前年同期比(%)
ソーシャルメディア マーケティング 支援事業	SNS分析ツール	315,887	90.9
	SNS広告・SNS運用コンサルティング	1,211,333	110.3
	SNSマーケティング支援事業	1,527,221	105.7
	DaaS事業	1,881,184	119.4
	小計	3,408,405	61.4
Web3関連事業		—	—
合計		3,408,405	61.4

以上の結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高3,408百万円（前年同期比38.6%減）、売上総利益は1,133百万円（前年同期比27.0%減）となりました。売上高、売上総利益は、前期に実施したクロスバウンド事業を担う連結子会社の売却により前年同期比で減少しておりますが、継続しているソーシャルメディアマーケティング支援事業は前年同期比で増加しております。販売費及び一般管理費は956百万円（前年同期比29.9%減）、営業利益176百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

金融収益は157百万円（前年同期は216百万円）となり、税引前四半期利益310百万円（前年同期は68百万円）、四半期利益245百万円（前年同期は82百万円）となりました。EBITDAは513百万円（前年同期は514百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、4,222百万円となり、前連結会計年度末に比べて86百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び現金同等物が165百万円増加、未収入金の増加等によりその他の流動資産が23百万円増加、営業債権及びその他の債権が7百万円増加した一方、未収法人所得税が283百万円減少したことによるものであります。

(非流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における非流動資産の残高は、4,618百万円となり、前連結会計年度末に比べて456百万円増加いたしました。この主な要因は、使用権資産が54百万円減少した一方、事業譲受等に伴いのれんが420百万円増加、ソフトウェアなどのその他の無形資産が77百万円増加、有形固定資産が7百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、951百万円となり、前連結会計年度末に比べて58百万円増加いたしました。この主な要因は、未払費用等の減少によりその他の流動負債が61百万円減少した一方、営業債務及びその他の債務が57百万円増加、未払法人所得税が27百万円増加、リース負債が18百万円増加したことによるものであります。

(非流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における非流動負債の残高は、1,467百万円となり、前連結会計年度末に比べて163百万円減少いたしました。この主な要因は、事業譲受に伴う長期未払金の発生によりその他の非流動負債が7百万円増加した一方、借入金が97百万円減少、リース負債が62百万円減少、繰延税金負債が10百万円減少したことによるものであります。

(資本合計)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計の残高は、6,422百万円となり、前連結会計年度末に比べて475百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が245百万円増加、海外子会社の財務諸表の為替換算調整等によるその他の資本の構成要素が207百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて165百万円増加し3,761百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、736百万円（前年同期は558百万円の増加）となりました。この主な要因は、税引前四半期利益310百万円に始まり、法人所得税の支払64百万円、その他の流動負債の減少59百万円、非資金項目である金融収益158百万円の調整により資金が減少した一方、法人所得税の還付298百万円、配当金の受取32百万円、非資金項目である減価償却費及び償却費336百万円と金融費用23百万円の調整により、資金が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、600百万円（前年同期は600百万円の減少）となりました。この主な要因は、無形資産の取得による支出266百万円、事業譲受による支出243百万円、投資有価証券の取得による支出98百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、110百万円（前年同期は397百万円の増加）となりました。この主な要因は、ストックオプションの行使による資本の増加による収入22百万円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出80百万円、リース負債の返済による支出52百万円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月10日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,596,782	3,761,991
営業債権及びその他の債権	376,047	383,612
未収法人所得税	283,120	—
その他の流動資産	53,053	76,804
流動資産合計	4,309,003	4,222,408
非流動資産		
有形固定資産	22,316	30,037
のれん	1,298,414	1,718,578
使用権資産	478,312	424,268
その他の無形資産	673,538	750,794
その他の金融資産	1,689,674	1,695,127
その他の非流動資産	10	—
非流動資産合計	4,162,266	4,618,806
資産合計	8,471,270	8,841,214
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	107,112	123,787
営業債務及びその他の債務	488,293	545,443
リース負債	69,297	88,113
未払法人所得税	1,195	28,630
その他の流動負債	227,126	165,129
流動負債合計	893,025	951,103
非流動負債		
借入金	772,235	675,226
リース負債	405,171	342,261
繰延税金負債	441,413	430,923
その他の非流動負債	11,683	18,707
非流動負債合計	1,630,503	1,467,118
負債合計	2,523,528	2,418,222
資本		
資本金	2,427,759	2,438,859
資本剰余金	2,952,369	2,963,469
利益剰余金	577,825	823,762
自己株式	△140,216	△140,216
その他の資本の構成要素	130,004	337,117
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,947,742	6,422,992
資本合計	5,947,742	6,422,992
負債及び資本合計	8,471,270	8,841,214

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,548,726	3,408,405
売上原価	△3,994,854	△2,274,781
売上総利益	1,553,872	1,133,624
販売費及び一般管理費	△1,365,698	△956,773
その他の収益	10,411	1,799
その他の費用	△4	△1,751
営業利益	198,580	176,897
金融収益	216,430	157,352
金融費用	△350,033	△23,440
持分法による投資利益	3,788	—
税引前四半期利益	68,766	310,810
法人所得税	14,155	△64,872
四半期利益	82,921	245,937
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	70,906	245,937
非支配持分	12,014	—
四半期利益	82,921	245,937
1 株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	4.55	15.72
希薄化後1株当たり四半期利益	4.53	15.70

(3) 四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	82,921	245,937
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	4,600	△80,769
純損益に振り替えられることのない 項目合計	4,600	△80,769
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	469,438	287,881
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	469,438	287,881
その他の包括利益合計	474,039	207,112
四半期包括利益	556,960	453,050
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	525,203	453,050
非支配持分	31,757	—
四半期包括利益	556,960	453,050

(4) 四半期連結持分変動計算書

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2022年1月1日残高	2,427,759	2,952,369	△1,240,770	△140,216	△132,477	3,866,663	264,749	4,131,413
四半期利益	—	—	70,906	—	—	70,906	12,014	82,921
その他の包括利益	—	—	—	—	454,296	454,296	19,742	474,039
四半期包括利益	—	—	70,906	—	454,296	525,203	31,757	556,960
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	—	3,751	3,751
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—	—	3,751	3,751
2022年9月30日残高	2,427,759	2,952,369	△1,169,864	△140,216	321,819	4,391,867	300,258	4,692,126
2023年1月1日残高	2,427,759	2,952,369	577,825	△140,216	130,004	5,947,742	—	5,947,742
四半期利益	—	—	245,937	—	—	245,937	—	245,937
その他の包括利益	—	—	—	—	207,112	207,112	—	207,112
四半期包括利益	—	—	245,937	—	207,112	453,050	—	453,050
新株の発行(新株予約権の行使)	11,100	11,100	—	—	—	22,200	—	22,200
所有者との取引額合計	11,100	11,100	—	—	—	22,200	—	22,200
2023年9月30日残高	2,438,859	2,963,469	823,762	△140,216	337,117	6,422,992	—	6,422,992

(5) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	68,766	310,810
減価償却費及び償却費	316,043	336,964
金融収益	△206,660	△158,151
金融費用	350,033	23,440
持分法による投資損益(△は益)	△3,788	-
固定資産除売却損益(△は益)	△49	-
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	247,833	3,202
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	280,577	17,959
棚卸資産の増減額(△は増加)	△138,425	-
その他の流動資産の増減(△は増加)	△70,621	△8,233
その他の流動負債の増減(△は減少)	△136,793	△59,751
その他	△24,068	2,977
小計	682,847	469,218
利息の受取額	709	14,620
配当金の受取額	-	32,060
利息の支払額	△17,609	△13,009
法人所得税の支払額	△107,757	△64,882
法人所得税の還付額	-	298,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	558,189	736,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△273	-
有形固定資産売却による収入	49	-
無形資産の取得による支出	△223,800	△266,513
投資有価証券の取得による支出	△28,701	△98,496
事業譲受による支出	△158,900	△243,000
出資金の払込による支出	△149,413	-
出資金の払戻による収入	-	4,276
短期貸付の回収による収入	883	283
長期貸付の回収による収入	3,399	4,347
敷金保証金による支出	△43,451	-
その他	△592	△1,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,800	△600,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入による収入	700,000	-
長期借入金の返済による支出	△249,560	△80,334
リース負債の返済による支出	△52,757	△52,532
ストックオプションの行使による資本の増加による収入	-	22,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	397,682	△110,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	204,590	140,189
現金及び現金同等物の増加額	559,662	165,208
現金及び現金同等物の期首残高	2,598,630	3,596,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,158,292	3,761,991

(6) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。